

野菜の需給・価格動向レポート(平成27年6月8日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	5月の価格情報				6月 (参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平成)	生育及び価格の6月中旬の見通し		
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平成)			下旬				
	上旬	中旬	下旬					
葉 茎 菜	キャベツ 	84.37 67.20	146	150	105	67.20	・入荷見込量:14,510t(100) ・主産地:千葉(45)、茨城(25)、群馬(7)、東京(4)	・千葉産は、4月以降の天候不順の影響から、現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、生育は最近の干ばつの影響はあるものの、概ね順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、干ばつによる影響はあるものの、作付面積の増加もあり、引き続き平年より多めの出荷の見込み。
		86.69 81.66	206	177	98	81.66	・入荷見込量:3,800t(100) ・主産地:愛知(30)、茨城(27)、大分(9)、兵庫(7)、熊本(7)	・千葉産及び茨城産の出荷が、平年並みもしくは平年より多めの出荷が見込まれることから、価格は平年並みもしくは平年を下回って推移する見込み。
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	264.10	394	463	424	264.10	・入荷見込数量:3,910t(100) ・主産地:茨城(63)、千葉(21)、輸入(6)	・茨城産は、干ばつの影響により細めのサイズの比率が高いものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、干ばつの影響により生育に遅れが見られ、一部のほ場で病害の発生が見受けられることから、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は出荷のピークに向けて増量が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。
		334.73	585	589	441	334.73	・入荷見込数量:200t(89) ・主産地:徳島(29)、奈良(45)、香川(21)、三重(12)、高知(7)	・茨城産、千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	はくさい 	67.05	134	153	102	67.05	・入荷見込量:5,130t(95) ・主産地:長野(63)、茨城(22)、群馬(14)	・長野産は、干ばつ傾向ではあるものの、生育はおおむね順調で、これから本格的な出荷を迎えて、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、作付面積の減少に加え、干ばつの影響や県内主産地の出荷が終盤を迎えて減少することから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。
		77.96	162	197	161	77.96	・入荷見込量2,500t(97) ・主産地:長野(78)、茨城(10)	・茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれるものの、長野県産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
	ほうれんそう 	376.10	463	449	446	376.10	・入荷見込量:1,370t(100) ・主産地:群馬(31)、茨城(21)、岩手(16)、栃木(14)、埼玉(5)	・群馬産は、降雨が少なく干ばつ傾向のため、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、干ばつ傾向であるものの、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。岩手産は、干ばつ傾向により生育に若干の遅れが生じていたが、最近の降雨もあり回復傾向で、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		396.89	536	513	502	396.89	・入荷見込量:470t(101) ・主産地:岐阜(79)、北海道(7)	・群馬産、茨城産及び岩手産の出荷が平年並みもしくは平年より少なめの出荷と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みもしくは平年を上回って推移する見込み。
	レタス (結球) 	156.23	174	128	163	120.13	・入荷見込量:7,990t(100) ・主産地:長野(74)、群馬(19)	・長野産は、干ばつ傾向であるものの、病害もなく生育は順調で6月に入り出荷量が増えきたため、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、干ばつの影響で平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は降雨による生育の回復が見込まれることから平年並みの出荷の見込み。
		165.00	229	141	193	125.61	・入荷見込量:1,850t(98) ・主産地:長野(97)	・群馬産の出荷が平年並みと見込まれるものの、長野産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
	たまねぎ 	71.02	112	113	124	71.02	・入荷見込量:10,170t(95) ・主産地:佐賀(44)、兵庫(18)、香川(12)、輸入(7)、愛知(4)	・佐賀産は、4月の曇天とその後の干ばつの影響で、ほ場によりばらつきは見られるものの小玉傾向となっており、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。兵庫産は、干ばつ傾向により小玉傾向ではあるが、病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。
		71.02	108	119	135	71.02	・入荷見込量:3,600t(80) ・主産地:兵庫(57)、佐賀(23)、長崎(15)	・兵庫産の出荷が平年より多めと見込まれるものの、佐賀産の出荷は平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
果 菜	きゅうり 	189.84	201	228	205	189.84	・入荷見込量:7,280t(103) ・主産地:埼玉(23)、群馬(16)、福島(14)、千葉(9)、茨城(8)、栃木(6)	・埼玉産は、5月の気温の上昇により、現在は平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は、出荷の終盤を迎え徐々に減少すると見込まれることから概ね平年並みの出荷の見込み。群馬産は、最近の気温の上昇など天候に恵まれているため、現在は平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は出荷の終盤となることから減少傾向となり、平年並みの出荷の見込み。福島産は、現在は半促成型の出荷が中心であるが、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		177.22	205	222	200	177.22	・入荷見込量:1,600t(99) ・主産地:宮崎(40)、高知(17)、徳島(15)、愛媛(10)	・埼玉産、群馬産及び福島産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	トマト (大玉) 	209.59	330	293	312	209.59	・入荷見込量:9,350t(98) ・主産地:栃木(22)、茨城(14)、愛知(12)、千葉(12)、熊本(11)、埼玉(5)、群馬(3)	・栃木産は、4月の曇天などの影響により、小玉傾向に加え、一部で病害の発生が見られることから、今後も引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、4月の曇天の影響で草勢が弱く、着果不良などがあつたが、その後の天候に恵まれ回復傾向となっているため、今後は平年並みの出荷の見込み。愛知産は、4月の曇天などの影響により一部のほ場で病害が見受けられることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。
		228.53	343	307	317	228.53	・入荷見込量:1,900t(100) ・主産地:熊本(37)、北海道(23)、愛知(13)、石川(8)、福岡(7)	・茨城産の出荷が平年並みと見込まれるものの、栃木産及び愛知産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	なす 	297.07	364	375	370	297.07	・入荷見込量:4,640t(100) ・主産地:高知(32)、福岡(19)、群馬(12)、茨城(9)、埼玉(3)	・高知産は、4月の日照不足の影響により、病害の発生が見られ、生育はあまりよくないことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。福岡産は、4月中旬までの天候不順の影響で病害が発生し、その後天候は回復したものの、引き続き平年よりやや少なめの見込み。
		271.01	363	355	360	271.01	・入荷見込量:1,100t(87) ・主産地:高知(29)、大阪(21)、熊本(15)、福岡(11)、岡山(7)、奈良(6)	・高知産及び福岡産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	ピーマン 	308.36	566	405	332	251.50	・入荷見込量:2,440t(100) ・主産地:茨城(84)	・茨城産は、4月の日照不足などにより、生育はあまりよくないことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。
		283.10	533	358	271	266.65	・入荷見込量:520t(81) ・主産地:宮崎(33)、高知(24)、茨城(14)、鹿児島(9)	・茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
根 菜	だいこん 	86.59	123	99	68	86.59	・入荷見込量:8,240t(100) ・主産地:青森(51)、千葉(27)、北海道(12)	・青森産は、やや干ばつ傾向であるものの、病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、現在出荷の終盤を迎えて、今後は漸減傾向となることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
		94.24	108	83	72	94.24	・入荷見込量:2,550t(102) ・主産地:青森(40)、北海道(21)、鹿児島(24)	・青森産及び千葉産の出荷が平年並みの出荷と見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っているため、引き続き平年を下回って推移する見込み。
	にんじん 	156.99	129	135	171	133.01	・入荷見込量:6,680t(100) ・主産地:千葉(81)、埼玉(8)、輸入(3)	・千葉産は、4月の天候不順の影響から生育にやや遅れが見られ、小ぶりとなっており、現在平年よりやや少なめの出荷であるが、今後は出荷のピークに向かい増量が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。
148.36		119	125	152	132.62	・入荷見込量:2,400t(97) ・主産地:長崎(55)、和歌山(27)、兵庫(10)	・千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	

種類	5月の価格情報				6月	生育及び価格の6月中旬の見通し	
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格(平年)						(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格(平年)
	上旬	中旬	下旬	平均販売額			
いも	さといも	-	-	-	344.00	・入荷見込量: 171t (-) ・主産地: 鹿児島(57)、宮崎(24)、輸入(8)、千葉(4)	
	ばれいしょ	131.80	185	183	213	347.90	・入荷見込量: 22t (-) ・主産地: 鹿児島(56)、輸入(38)、宮崎(4)
		131.80	200	203	215	131.80	・入荷見込量: 7,910t (90) ・主産地: 長崎(53)、静岡(16)、千葉(9)、茨城(7)
					131.80	・入荷見込量: 3,200t (83) ・主産地: 長崎(71)、北海道(12)、静岡(7)	

注: 1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売額の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局が公表する「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。
8 キャベツの平均価格は、上段が5月1~15日まで、下段は5月16日~6月31日までの価格である。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,693gで前年比96%、購入金額は、2,070円で同110%となった。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)						主要野菜の小売価格(東京都区部)								
	過去5カ年平均		平成26年		平成27年		キャベツ		レタス		キャベツ		レタス		
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比	購入金額(円)	前年比	過去5カ年平均	平成27年	過去5カ年平均	平成27年	過去5カ年平均	5カ年比(%)	
また、小売物価統計によると、5月のキャベツの小売価格は、283円で過去5カ年平均比174%、レタスは、423円で同116%となり、キャベツ、レタスともに過去5カ年平均を上回った。	1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	100	1,755	99	212	229	108	684	827	121
	2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	99	1,761	101	223	202	91	631	576	91
	3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	99	1,939	103	205	169	82	500	511	102
	4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	96	2,070	110	243	255	105	453	555	123
	5月	5,089	1,917	5,146	1,993					163	283	174	365	423	116
	6月	5,056	1,902	4,998	1,976					137			317		
	7月	4,402	1,737	4,542	1,770					160			332		
	8月	4,315	1,731	4,275	1,846					138			400		
	9月	4,688	1,844	4,745	2,035					158			591		
	10月	5,191	1,902	5,455	1,973					174			469		
	11月	4,990	1,700	5,291	1,704					164			429		
	12月	5,146	1,927	5,233	1,977					172			546		

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」
注: 過去5カ年平均は、平成22~26年の平均。

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」
注: 1 過去5カ年平均は、平成22~26年の平均。
2 平成27年5月の値は、5月中旬の速報値。

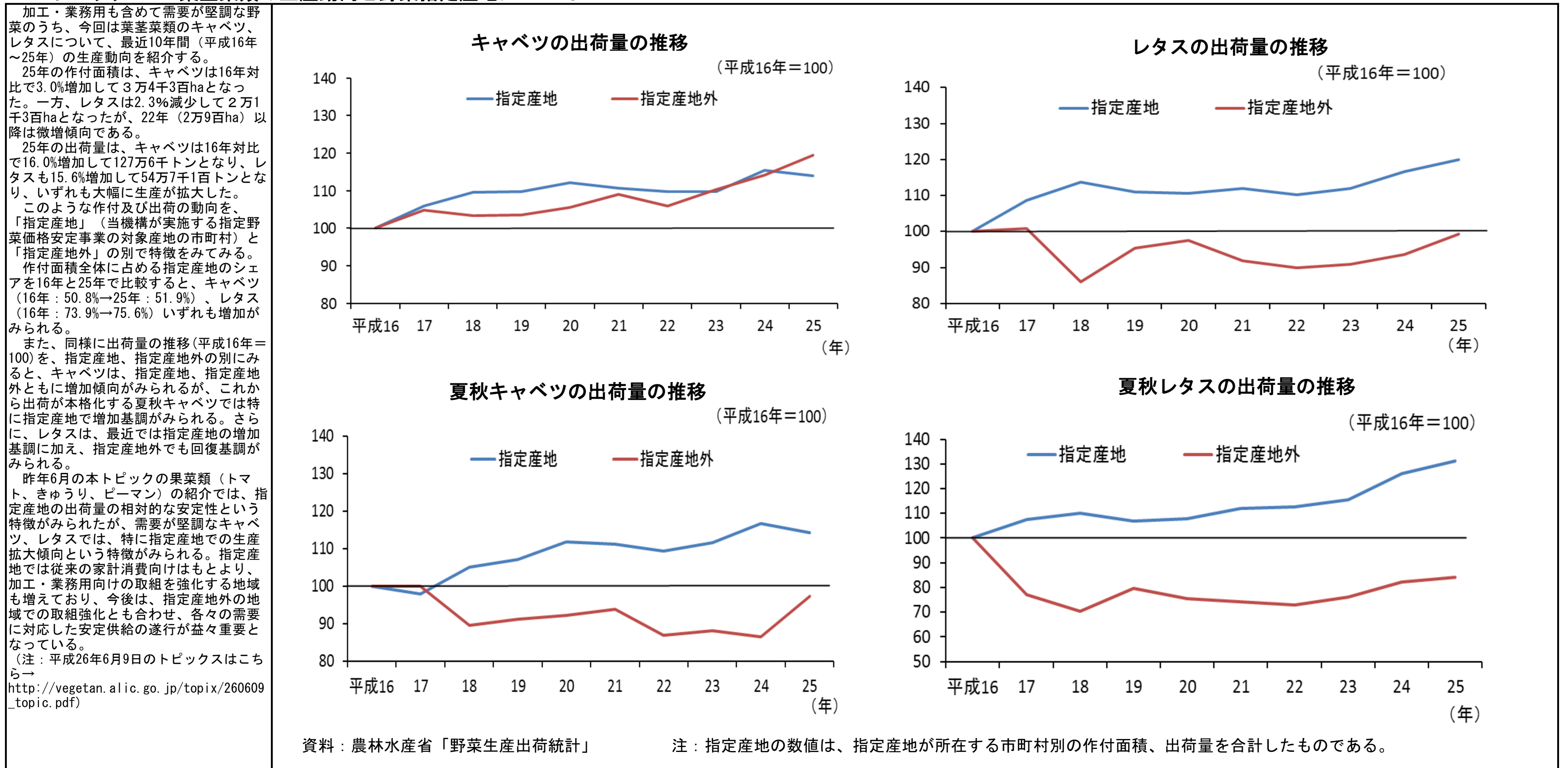
3 野菜の輸入動向

4月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年同月比88%の8万6千トン、加工野菜は同105%の16万7千トン、野菜全体は、同97%の25万2千トンとなった。このうち中国産野菜合計は同97%の11万8千トンとなった。	野菜の輸入数量						主な野菜の輸入数量						
	平成25年		平成26年		平成27年1~4月		平成27年4月		輸入先		(B)/(A)		
	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	平成26年4月(A)	平成27年4月(B)	中国	台湾	中国	台湾	
生鮮野菜は、前年を下回ったものの、加工野菜が前年を上回ったことから、野菜全体では前年並みとなった。	生鮮野菜	85,420	90	88,473	104	309,023	83	85,749	88	合計	34,231	29,267	85
	加工野菜	1,854,679	97	1,785,487	96	579,620	96	166,579	105	中国	26,410	24,534	93
	野菜合計	2,709,100	95	2,670,222	99	888,644	91	252,328	99	ニュージーランド	5,981	3,570	60
	うち中国産野菜合計	1,416,557	97	1,409,604	100	434,009	91	118,219	97	合計	6,490	7,843	121
	中国産シェア	52		53		49		47		中国	4,559	6,895	151
										台湾	665	600	90
									合計	4,522	5,416	120	
									中国	4,486	5,407	121	

資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料: 財務省「貿易統計」

資料: 農林水産省「植物防疫統計」
注: 1 平成27年4月は速報値。
注: 2 輸入数量は、検査数量である。
注: 3 冷凍を除く。

4 トピック — 葉茎菜類の生産動向と野菜指定産地について —



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、齋藤、海老沼 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。
※無断転載禁止 ・ レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。